

レジュメ【発表骨子】 スクールロイヤーから見たいじめ

弁護士/精神保健福祉士 石坂 浩

第1 自己紹介（5分）

- 1 弁護士・社会福祉士・精神保健福祉士の仕事
近時 家事事件の増加，ダイバーシティ講演（障害者差別解消法から展開）
- 2 学校現場での活動
学校管理職への講演，学校教員へのアドバイス，子ども・保護者からの相談
- 3 スクールロイヤー
論文（家庭の法と裁判）紹介 組織的アプローチの重要性

第2 学校現場の状況（教育現場で起きていること）（10分）

- 1 学校の認識
いじめ恐怖症 教員・幹部がナーバスになり過ぎている
- 2 教員の認識
教員の限界（働き方改革） 教員の仕事とは？ 児童生徒・保護者対応
- 3 児童生徒の状況
「いじめ」の捉え方 時代的変遷

第3 弁護士のいじめ対策（15分）

- 1 児童生徒（保護者）からの相談
保護者の捉え方（「諦め」か「モンスター」か）
- 2 弁護士いじめ授業 紹介
「いじめで誰かが死ぬ前に」平尾潔（弁護士）2009/4/10 岩波書店
具体的内容紹介（一例）
 - ・いじめられる人は悪い？
 - ・命に関わる「いじめ」重大事態（自死案件）中野富士見中・北海道滝川中
 - ・いじめの四層構造（ドラえもん）
 - ・コップの話
- 3 時代的変遷への対応（いじめ授業から見えたこと）
家族関係の変化，SNSの普及，精神保健アプローチ（診断精度）
- 4 スクールロイヤーから見た「いじめ」とは？
類似定義 ハラスメント・犯罪行為
学校を含むソーシャルワークの必要性